

ご入園・ご進級おめでとうございます。

少し時間が経過していますが、この度入園された入園児の皆さん、また進級された在園児の皆さん、そして保護者の皆さん、改めてましておめでとうございます。今年は0歳から3歳まで27名の新しいお友達が入園してくれました。私たち職員一同心から歓迎いたします。

入園から2週間近くたち、本来なら慣らし保育中の新入の乳児さんたちの泣き声が目立つ時期なのですが、新型コロナウイルス感染症予防のため登園を延期されるご家庭もあり、やや静かな様相を見せています。

当園でも職員のマスクの着用はもとより、ドアノブ等接触部分の消毒回数が増や、換気の励行等行政の指導に従って予防に努めているところです。ただただ早く平穏な日々が戻るようお願いばかりです。

ほぼ1か月前に卒園式を終え、入学式を済ませた旧ゆり組の子たちの多くは式当日に真新しい服にランドセルを背負って、その晴れがましい姿を見せに来てくれました。まぶしいばかりのお兄さん、お姉さんぶりに、職員は皆喜びを隠せませんでした。卒園後に通学している学区はいくつかに分かれており、これから旧ゆり組の子どもたちはは少しずつ離れていくのですが、当園で培った経験や仲間意識はずっと持ち続けて、これからの人生に生かしていってくださることを祈ります。

さて、当園では保育目標に、「丈夫な身体に豊かなこころを培う」こと掲げて保育に当たっています。この目標を表すテーマとして「みどりつつちとおひさま」をあげています。これらは植物が成長するうえで必要な三要素であり、人の成長と生存に必要とする環境でもあります。人の成長にはまだたくさんの要素を必要とします。その最たるものが「愛情」です。保育士が保育のプロとして、「愛情」を初めとしてより多くの要素を心に留めて、子どもたちの育ちを助けることが肝要と考えています。当園の保育士はベテランから新人まで、常に「より良い保育」について幅広く意見を交換し、また研修にも参加しつつ、保護者の皆さんのご意見を傾聴して保育の質の向上に努めています。

この4月は、われわれ職員にとっても特別な月です。新しい一年の始まりでもあり、新しく担当するクラスや新しい担任の先生とのコンビなどなど園児同様、ワクワクの気持と不安な気持で一杯ですが、丈夫で元気で心豊かな子に育ててくれることを信じ、保育にあたって参りたいと思っております。子供さんのことや園のこと等、ご不安やご相談があれば担任でも直接私や主任までご遠慮なくご連絡ください。では今年一年よろしく願いいたします。

園長 高見 孝幸